

平成 27 年度第 2 回二戸市総合教育会議の内容について

日 時 平成 28 年 1 月 14 日（木）午後 2 時 30 分

場 所 市役所 2 階 会議室

出席者 二戸市長 藤原淳

二戸市教育委員会 委員長 清川泰

二戸市教育委員会 教育委員 平栗壽隆

二戸市教育委員会 教育委員 佐々木春彦

二戸市教育委員会 教育委員 菅原ゆかり

二戸市教育委員会 教育長 鳩岡矩雄

議 題 1. 二戸市教育大綱（案）について

2. 平成 28 年度の主な教育事業について

3. 人づくりについて

平成 27 年度第 2 回二戸市総合教育会議【議事録】

- 開催日時 平成 28 年 1 月 14 日（木）午後 2 時 30 分～3 時 30 分
- 開催場所 本庁舎 2 階会議室
- 出席者 藤原淳（市長）、清川泰（教育委員長）、平栗壽隆（教育委員）、佐々木春彦（教育委員）、菅原ゆかり（教育委員）、鳩岡矩雄（教育長）
- 事務局職員 樋口敬造（教育部長）、米澤幸彦（教育企画課長）、欠端秀治（生涯学習課長）、加藤暢之（学力向上推進監）、大沢治（総合政策部長）、石村一洋（総合政策部副部長兼政策推進課長）、高林和弘（教育企画課副主幹）

1 開 会

（樋口教育部長）

ただいまから、平成 27 年度第 2 回二戸市総合教育会議を開会いたします。
はじめに、藤原市長から、あいさつをお願いいたします。

2 あいさつ

（1）市長あいさつ

（藤原市長）

本日は、第 2 回目となる二戸市総合教育会議に、教育委員の皆様には、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。

また、日頃から、二戸市の教育の充実のためにご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年の暮れから 1 月にかけて、二戸市中学生海外派遣研修結団式や成人式などで生徒や新成人を見ますとたくましく、立派に育っていると感じました。このような、人たちが二戸市に帰って来てまちづくりをしてくれると心強いと実感いたしました。

本日の総合教育会議では、教育大綱案や平成 28 年度の主な教育事業、人づくりについて、普段感じていることなど、忌憚のないご意見を頂ければと思います。

よろしくをお願いいたします。

（樋口部長）

ありがとうございます。

続きまして、清川教育委員長から、あいさつをお願いいたします。

（2）教育委員長あいさつ

（清川委員長）

教育委員会を代表しまして、あいさつを申し上げます。

今日は、会議の柱となる教育大綱案について、いよいよ姿が見えてきました。私自

身、平成18年度から27年度までの10年間を振り返ってみますと、教育に対する市当局のご理解とご支援を頂きいろいろな場面で活かされてきていると感じております。

二戸市の子どもたちは、素直で言われなくても考えて実行できる力が付いてきていると思います。

市当局におかれましては、今後ともご支援、ご協力、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

3 協 議

(樋口教育部長)

ここからは、「二戸市総合教育会議運営要綱第2条」の規定により、藤原市長に議長をお願いいたします。

(藤原市長)

次第の「3 協議」に入りたいと思います。

協議「(1) 教育大綱案について」を、事務局から、説明をお願いします。

(米澤教育企画課長)

教育委員会事務局教育企画課長の米澤です。

よろしくお願いいたします。

資料の1ページをお願いします。教育大綱については、現在作成中の教育振興基本計画の「基本目標や基本的方向性」を基とすることとしております。

本日は、基本計画から抽出したこの「教育大綱」をご覧頂き、ご意見を伺ったうえで、次回の総合教育会議で決定する予定ですので、よろしくお願いいたします。

それでは、基本理念の「学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり」ですが、教育振興基本計画では基本目標となっているものであります。

次に、基本方針ですが、こちらは教育振興基本計画の体系に合わせて5つの項目となっております。

はじめに、「生涯学習の充実」であります。「生涯を通じた多様な学習環境づくりの推進」であり、内容は、「市民の誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでも、どこでも学ぶことができる環境を整え、その学びの成果を生かす取組を推進します」。施策といたしましては、「広がりや深まりのある生涯学習の推進」であります。

次に、「学校教育の充実」であります。「豊かな心、健やかな体、確かな学力を育む教育の推進」であり、内容は、「子ども一人ひとりの個性を生かし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、教育の充実と健全な育成を図ります」。施策といたしましては、「学力向上対策の推進、豊かな心を育む教育の充実、健康・安全教育の推進、幼児教育・特別支援教育等の充実、教育環境の整備・充実」であります。

次に、「社会教育の充実」であります。「地域で子どもを育てる教育振興運動や市民の学習活動支援の充実」であり、内容は、「教育振興運動を基本に、学校、家庭、地域が一体となって、子どもの育つより良い環境づくりを推進します。また、社会教育施設等での学習機会の充実に努め、市民の自発的な学びを支援します」。施策といたしましては、「教育振興運動を基盤とした教育力の向上、社会教育施設の環境整備」であります。

2ページをお願いします。「芸術文化の振興」であります。「豊かな感性を育む芸術文化の振興と郷土の文化財や伝統文化の保存伝承と活用」であり、内容は、「芸術文化に親しむ機会を提供し、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を支援します。また、国指定の史跡や建造物をはじめとする文化財の保護と活用を図るとともに伝統文化の保存と伝承に努めます」。施策といたしましては、「芸術文化の振興、文化財の保護と活用、郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承」であります。

次に、「スポーツの推進」であります。「スポーツに親しむ環境づくりと競技スポーツの推進」であり、内容は、「市民の誰もが年齢や能力、体力の違いにかかわらず、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりに努め、希望と活力をもたらす競技スポーツを推進します」。施策といたしましては、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、競技力向上に向けた選手の育成と指導者の養成」であります。

以上でございます。

(藤原市長)

ただいまの説明について、皆様からご意見、ご質問はございませんか。

(平栗委員)

生涯学習の充実の「その学びの成果を生かす取組」とは具体的にどのような取り組みなのか教えてください。

(米澤教育企画課長)

勉強会や小さな講演での講師派遣など、市民へ指導者情報の提供を行います。

(樋口部長)

国では、国民総参加社会と言うことで、機会を捉えて学びなおして、生活に活かすといった考え方になってきております。例えば、仕事をしながら学んだり、その結果を仕事に活かしていければ、ということ踏まえての生涯学習の充実と捉えています。

(菅原委員)

スポーツの推進で気軽にスポーツを親しむという趣味的な意味合いと思いますが、健康推進というのは、含まれているのか教えてください。

(米澤教育企画課長)

広くスポーツに親しむということで、そういった健康面も含まれています。

(樋口部長)

スポーツ推進は、健康面が主目的ではなくスポーツに親しむことで、必然的に健康

推進へつながるものと思います。

(清川委員長)

芸術文化の振興についてですが、昨年度でしたか、伝承していかなければならない団体とか、人が居なくて厳しい状況にあるが、辛うじて小学校の子どもたちが参加して、続けている団体があります。こちらで、意図的に企画し、保護や伝承活動をしていくものか教えてください。

(藤原市長)

金田一小学校や石切所小学校、浄法寺小学校の七つ物などお祭り等で地域の方々と一緒になって、伝統文化活動をしています。

(清川委員長)

うまくいかない一例としては、高齢化が進み、その地区に子どもが居ないことが挙げられます。

(藤原市長)

この伝承活動について、小さいころから取り組むということは、非常に大切なことだと思います。

(佐々木委員)

比較的、浄法寺地区はうまく伝承していると思います。地元のお祭りでも若い人へ代替わりが行われています。

(藤原市長)

浄法寺地区がうまくいっているのは、リーダーが苦勞して伝承していると思います。

(米澤教育企画課長)

芸術文化団体への活動支援や活動発表の場を提供することに努めたいと思います。

(藤原市長)

総合計画との関わりは、どのようになっているのでしょうか。

(樋口部長)

総合計画の教育分野と教育振興基本計画の内容は、整合性を図っております。

(藤原市長)

それでは、ただいま説明のありました「教育大綱案」の方向性により、今後、取りまとめていくことでよろしいでしょうか。

なお、2月22日に開催予定の第3回総合教育会議において、「教育大綱」を正式に決定したいと思います。

(藤原市長)

続きまして、協議「(2)平成28年度の主な教育事業について」を、教育委員会事務局から、説明をお願いします。

(米澤教育企画課長)

それでは、3ページの平成28年度の主な教育事業について、ご説明いたします。
はじめに、「図書に親しむまち推進事業」であります。

これは、今まで教育委員会の各課で実施してきた事業を1つの事業としてまとめて、幼児期から中学生までの各成長段階において、図書に親しむ機会を提供したいと考えて実施するものです。

(ブックスタートから学校図書館支援員の配置まで説明 省略)

4ページをお願いします。「教員補助員の適切な配置」であります。

特別支援教育支援員については、発達障がいの子供生徒も多い現状から、学校現場からも支援員の配置要望も多くなっております。

このような現状を踏まえ、教育企画課でも教諭の負担軽減と児童生徒への支援の充実を図るため、平成28年度予算では1名増を要望したものです。

こちらは、財政課から予算をつけて頂いており、年度当初から14名でスタートしたいと思っております。

5ページをお願いします。「通学バス・タクシー運行事業」であります。

午前中の政策会議で審議し、ご了解を頂いた件ですが、野々上、山屋、山田地区の中学生については、通学距離や公共交通機関がないこと、また、通学上の安全確保の観点から、通学タクシーへの乗車を認めることが適当であると認められ、平成28年度から通学タクシーを運行することといたしました。

6ページをお願いします。「にのへ土曜チャレンジ塾」であります。こちらは、平成28年度の新規事業となります。

中学生の1・2年生を対象に、年3回、土曜日の午前中に実施します。

地域の歴史や先人について学び、読書やニュースポーツに親しむ機会を提供し、学校の授業以外にも様々な体験をすることを目的としております。

また、にのへ土曜チャレンジ塾の実施は、槻陰舎きぼう塾に合わせた日程で実施することにしております。

(7ページ及び8ページの説明 省略)

説明は、以上となります。

(藤原市長)

ただいまの説明について、皆様からご意見、ご質問はございませんか。

(菅原委員)

3ページの図書に親しむまち推進事業の中で、ブックスタートという10か月健診から乳児に対して、読み聞かせを行うという素晴らしい取り組みと感じました。この際、お母さんたちに対しても何かしらの指導とかも行っているのでしょうか。

(欠端生涯学習課長)

ブックスタートですが絵本を配布するとともに、図書館ボランティアの花ぐるまによる家庭での読み聞かせの仕方のガイドブックもお母さんへ配布しております。当然、

その日は、読み聞かせを実践しております。

また、市立図書館では毎月、花ぐるまによる読み聞かせ講座も実施しております。

(鳩岡教育長)

このブックスタートですが、平成 18 年の開始とあり、合併前の浄法寺町で既に実施していた事業と記録しています。浄法寺町は県内でもいち早く取り組んでおり、合併効果として引き続き事業を行っていると感じています。

(藤原市長)

図書関係事業で二戸市が進んで行っている事業は何ですか。

(鳩岡教育長)

小中学生への図書の贈呈事業は、県内でも珍しい事業となります。今年度は一人 2 冊贈呈し、来年度は 1 冊の贈呈となります。

それに、ブックツアーですが小規模校を対象に今年度は、二戸西小学校と御返地小学校の児童を市立図書館までバスを利用して、図書に親しむ事業を行いました。

学校図書館支援員の配置ですが、学校現場から喜ばれています。これまで学校の先生方があまり手が回らないでいた図書館の環境整備でしたが、3名の支援員によって環境整備やおしゃれな飾り付けなどをして、児童生徒が本を借りたくなるような環境となっております。

(藤原市長)

図書館には小さな子連れの親子は来ているものでしょうか。

(欠端生涯学習課長)

平成 24 年度に図書館をリニューアルいたしました。その際、児童図書室もオープンなスペースになりましたので、床に座って親子で本を読めるようになりました。

また、最近照明を明るくし、より良い環境となっております。

(平栗委員)

図書館の利用者カードですが、小学校以上であれば持っていると思いますが、それより小さな子どもに利用者カードをプレゼントしても良いと思いますがいかがでしょうか。

(樋口部長)

実際には取り組んでいませんが、非常に良い事業だと思いますので、参考にさせていただきます。

(鳩岡教育長)

今年試行した土曜学習事業に参加した中学生の中で、初めて図書館の利用者カードを作った人がいました。利用者の中には、2階で勉強をして、勉強が飽きたら1階で本を読めて大変良かったと感想を頂きました。

(藤原市長)

なにゃーとの物産センターの一角にでも高校生等を対象に待ち時間を有効に使い

るよう勉強のできるスペースが有ったらいいと感じました。また、なにゃーとであれば、高校生たちにとっては、安心できる居場所となると思います。

(一同)

とても、良いと思います。

(清川委員長)

実際になにゃーとの3階の待合室で勉強をしている高校生がいます。

ブックツアーのようにシビックセンターへ科学や美術の勉強のためにバスを出して利用するといった事業をやっていますか。

(大沢総合政策部長)

学校単位ではありませんが、長期休業を利用して子ども会単位での利用は聞いております。従いまして、何らかの団体での利用はあると思います。

(鳩岡教育長)

昨日、三戸町長さんが来られて言っていました。三戸では「三戸まちめぐりツアー」という良い事業を行っています。二戸市でも浄法寺の歴史民俗資料館や漆をはじめ、まちづくりという観点からも、市内を巡るツアーを企画しても良いのではないかと感じました。

(藤原市長)

二戸市全体を盛り上げていくには、世界に情報発信できる「漆」をメインにして、まちづくりを進めていく必要があると思います。

(大沢総合政策部長)

何年前には、地域の宝を巡るツアーや田中館愛橋会とタイアップして、博士のゆかりの地を巡るツアーをやった経緯があります。

(藤原市長)

昨日、三戸町長さんを連れて市内を案内しましたが、驚いていたのが、福岡中学校の新校舎、消防署の新庁舎と最新設備、シビックセンターの福田繁雄記念館、浄法寺の漆など感動して帰って行きました。

既存の物を活用して、うまくまちづくりにつなげて行きたいと思います。

また、5ページの通学バスタクシー運行事業についても、ここまで良くいい方向にまとめて頂いたと思います。

(鳩岡教育長)

試行でやった土曜学習ですが、1回目は173名、2回目は119名と予想以上に生徒が参加したと思います。

学校側でも参加要請をしてくれた結果、丁度いい数になったと思いますし、学校の先生方には一切、負担を掛けずに教育委員会の職員やボランティアガイドの皆さん、田中館愛橋会、体育協会、民間団体などの絶大なるご協力により、実施することができました。

(菅原委員)

「チャレンジアート 10」で私もやらせていただきましたが、子どもたちが普段、学校でできない油絵やお琴など合計3回やって、子どもたちの上達ぶりにびっくりしました。教える側としても、子どもたちが喜んでくれる姿を見て、非常に気持ちのいい時間を過ごすことができました。

(清川委員長)

市内には、二科展入賞者など素晴らしい人材が3名もいるので、まちづくりのためにも上手に活用していけばいいと思います。

(佐々木委員)

ブックスタートですが、健診にはお母さんの方が圧倒的に多いと思いますが、是非、お父さん方にも参加していただき、読み聞かせの方法を学んでほしいと思います。

(藤原市長)

その他無いようですので、平成28年度の主な教育事業については、このとおり進めていただくことで、よろしいでしょうか。

(一同)

異議なし。

(藤原市長)

続きまして、協議「(3) 人づくりについて」ですが、教育委員の皆様から「人づくり」について、忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願い致します。

(平栗委員)

全国の1,700を超える自治体で少子化対策を行っています。学校に例えると、政令指定都市が大規模校であり、その他の自治体は小規模校であり、それぞれ、少子化対策を行っています。二戸市でも将来人口が減少すると予想させているが、少子化対策について、「魂を入れてやっていく」ことが大事だと思います。

昨年、福岡工業高校の卒業式に行ったときに校長先生と話をしましたが、二戸の子どもは人柄が良いので、関東方面の企業からは喜ばれています。

また、現在はネット社会で「情報や知識」は容易に得られるが、「体験」が重要となってきていると校長先生が言っていたことが印象に残っています。

(佐々木委員)

月並みですが、その人の個性を伸ばす、その人の長所を徹底的に伸ばすことが必要だと思います。例えば、勉強で5教科を満遍なくこなす人や3教科であれば誰にも負けないなど、どちらのタイプもこの世の中には必要であります。

スペシャリストでも何か欠如している所はあると思います。その欠如した所を人並みまで伸ばしてやることも大事な事だと思います。

(菅原委員)

人づくりという大きなテーマであり、やはり世間で役に立つ人、社会性をもった人を育てることが必要だと思います。

県北地域の人間は、信用できる人が多く、コツコツやる人材が多いと聞きます。反面、表現不足の面があり、その不足している個性を伸ばしていくことが必要となってくると思います。

私の書(芸術)に関しては、変なものを出さないよう心がけており、出すからには、「見て幸せを感じてもらえる」ような作品を出すようにしています。書という地味な芸術であるが、書と人格はイコールであると思っています。

(清川委員長)

今の子どもたちには、普段頑張っている学力を活かせるような人生を歩んでほしいと思います。チャンスというものは、何回もあるもので無いので、二戸市という故郷で育ち、自分の力を大学等で試し、卒業したら二戸を振り返って見れるような子どもになってほしいと思います。

このような話を人生の先輩である親と家庭の中で、進路や人生、学び方、生き方など話す機会は持ってほしいと思います。

(鳩岡教育長)

市長はご就任以来、人づくりとことあるごとに、言っており、施策の大きな柱と理解しています。教育の面で教育委員会としてできることは何かと、教育委員一同、常日頃考えております。

人づくりと言うことを考えますと、私たちは何といても学校教育であり、小中学校での教育をしっかりとやるのが、最大の責務だと思います。

県内を見ますと、教育委員会は学校教育だけで、他はそぎ落としてすべて首長部局に移管したという市町村もあるので、今後の検討課題であると思います。

将来的に教育委員会は、とにかく子どもを育てることに集中し、頭脳集団であり、実践集団である市役所の首長部局ではより良いセクションで地域づくりやまちづくりを行うといった大胆な組織改編も検討する必要があると考えます。

あるテレビ番組で、「役人とは役に立つ人のこと」と言っていましたが、その通りだと思いますので、今後も心して教育委員会職員としてやって行きたいと思います。

(藤原市長)

皆さんから人づくりについて、ご意見を頂きましたが、一番の柱は、人が基本となることが分かりました。どんなにコンピューターが発達しても操作するのは人であり、操作を誤ると障害や犯罪になったりするケースもありますので、改めて、人づくりは大切だと感じました。

前回の総合教育会議で頂いた意見の中に、世の中に役に立つ、社会に役立つ知識を活かすことが大切である。と言ったことや今回の意見など市役所の若手職員や市内の

企業に勤めている若い方々に聞かせる機会を持ちたいと考えています。

先般、加藤学力向上推進監から小中一貫校や東京学芸大学との交流などについて話を聞きましたが、人づくりについて何かありましたら、ご意見をお願いします。

(加藤学力向上推進監)

小中一貫校については、中1ギャップという学習意欲の低下や集団生活へ馴染めない等の課題や小学部6年プラス中学部3年の9年間を一貫して、先生方が同じ考えで子どもを育てるという意識づくりが必要となってくると思います。

東京学芸大学との交流については、子どもたちと大学生の学習会を見て感じたことですが、子どもたちにとっては、親切、懇切、丁寧、ユーモアたっぷりに学習を教えてくれる、優しいお兄さん、お姉さんであり、学生に憧れを感じたようです。

東京学芸大学の学生は、将来、教職員志望が多いことから、子どもたちと触れ合うことにより、さらに、教職員への強い思いを持ったと聞いております。

従いまして、この交流事業を通じて子どもたちにとっても、学生にとっても有意義な交流になっていると感じております。

また、二戸の子どもたちが東京学芸大学に憧れて、東京の大学に入学し、教員となって岩手県、そして、二戸市に赴任したりすると理想と思います。

また、必ずしも、二戸に戻らなくても全国に二戸の人が散らばって、全国から情報発信基地となり、見守ってくれてもいいと思います。

(藤原市長)

加藤学力向上推進監から話を聞いた時に、二戸の教育レベルは非常に高いところにあると感じました。

(加藤学力向上推進監)

もう一つ、言い忘れましたが、海外派遣研修に昨年派遣されて子どもたちと1週間過ごしましたが、ある男の子に言われた事がありました。それは、どうしたら二戸市職員になれるのですかと聞かれました。その時感じたことは、田中館愛橘博士が郷土を愛したことなどが、影響していると感じました。

(藤原市長)

その他、皆様から何かございますでしょうか。

無いようですので、協議はこれで終了したいと思います。

本日は、教育委員の皆様から貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

これで議長を降りさせていただきます。

4 その他

(樋口教育部長)

それでは、次第の「4 その他」について、皆様から何かご質問等がございますでしょうか。

(一同)

ありません。

5 閉 会

(樋口教育部長)

それでは、これもちまして、第2回二戸市総合教育会議を閉会します。

ありがとうございました。

平成 27 年度 第 2 回二戸市総合教育会議

日 時 平成 28 年 1 月 14 日 (木)
午後 2 時 30 分～3 時 30 分
場 所 本庁舎 2 階 会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

(1) 市長あいさつ

(2) 教育委員長あいさつ

3 協 議

(1) 教育大綱案について

(2) 平成 28 年度の主な教育事業について

(3) 人づくりについて

4 そ の 他

5 閉 会